



# 波濤

<http://hatoh.net/>

## 第 59 号

発 行 放送大学神奈川同窓会  
編集委員会  
責任者 金田 保男  
発行日 2020年8月18日  
会員数 590名(2020年4月1日現在)

### 会長就任のご挨拶



会長 金田保男

このたび、神奈川同窓会会長に就任した金田保男と申します。これまで事務局長および副会長を務めて参りましたが会長職を拝命することとなり、皆様のご協力を得ながら誠意をもって務める所存です。

神奈川同窓会の理念および基本方針は、諸先輩が積み上げてきた誇れる要素が鏤められており今後とも引き継いで参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

2019年末発生した「新型コロナウィルス(COVID-19)」感染症は、急激な拡大から横這い減少傾向にありますですが一定の収束状態からまた拡大に転ずる可能性を常に秘めています。3月から学習センター施設利用が制限され更に4月7日「緊急事態宣言」発令により学習センター自体も閉所止むなきに至りました。このため同窓会活動も停止状態となり、「通常総会」も開催不能に陥りました。しかし活動が可能になればいつでもフル活動できるよう準備は整っていますので何卒ご理解をお願いいたします。

### [創立30周年を迎えた神奈川同窓会]

1990(平成2)年3月に放送大学同窓会総会が開催され、同年10月放送大学神奈川学習センター支部が設立されて今年で創立30年を迎えます。この間会員の皆様・学習センター教職員および歴代役員の献身的努力により、名実ともに先進的な同窓会として先頭集団を走って参りました。

「会社の寿命は30年」と言われますが、30年経つと時代が変わります。それに気が付かなければ取り残されてしまいます。同窓会も例外ではありません。神奈川同窓会は30周年を迎えた喜びとともに時代の節目にあたります。このことを常に念

頭に置いて事にあたって参ります。

#### [これからの時代に向けて]

オリンピックに向け、未曾有の資金を注ぎ込んだ経済もコロナ禍により一気に様変わりし、時代も大きく変わろうとしています。神奈川同窓会では、Web会議の導入により、役員一同活動再開に向け対処してきました。また教育分野においても小学校から大学までオンライン授業が進み、著しく変化してきています。ICT(情報通信技術)の普及が進み新しい様式が生まれようとしています。私達も活動における手段として活用します。人との接し方が変わるこれからの時代にあっても、これまでの「絆」を失ってはなりません。また次の事項も取り組んで参ります。

#### [社会関係資本としてのネットワーク推進]

木村元会長、佐葉前会長は関係者との交流を積極的に進めて参りましたが、新型コロナウィルスの影響により「人が多数集まること」、また「激論を交わしながら学習すること」等は出来にくく状況に陥ってきました。個人・学生団体が孤立しないためにも、今こそ関連組織(学習センター・サークル協議会・同窓会連合会等)と緊密に連絡を取りながら豊かな社会関係資本として深化させて参ります。

#### [「見える化」の推進]

「見える化」(文書化を含む)という言葉の意図する思いは人それぞれです。最初に手掛けなければならないものは、神奈川同窓会会則に謳われている「帳簿類の保管」や「会則施行規則」等です。具体的に「交通費支給規則」や「個人情報保護規則」等を目で見て判るようにします。規則等がどうなっているのかが問題になるのは、主に役員交代の時です。実施する場合には、「機密性・完全性・可用性」の観点から評価し、できることから一つずつ進めて参ります。皆様のご支援をよろしくお願ひいたします。

## 副会長就任のご挨拶



高橋照夫

この度、副会長を務めさせていただきましたことになりました高橋照夫です。神奈川同窓会は今年で創立30周年を迎えましたが、このような節目の年に重責を担うこととなり、身が引き締まる思いです。今年度は金田新会長の就任で、今までの歴史や伝統に驕ることなく、新たな飛躍を期してこれから的新時代に向け活動方針が打ち立てられております。私は同窓会に入会以来10余年ですが、主としてサークル協議会の委員、同窓会連合会事務局など務めてまいりました。同窓会本来の実務の経験はあまりありませんが、方針の具体化に向け、新会長をサポートしてまいります。皆様のご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ申し上げます。

## 副会長・事務局長就任のご挨拶



中島悦子

このたび、副会長及び事務局長を務めさせていただくことになりました中島悦子と申します。同窓会に関して不慣れなことが多いのですが、この期にあたり会の継続、発展に寄与したいと思っております。神奈川同窓会は本年30周年を迎えたが、これまでどれだけの先輩方が会の存続のために努力してこられたことでしょう。そして充実した会であると賞賛されるのも、むべなるかなと実感させられます。それは前会長をはじめ、役員の方々の日頃の活動ぶりを拝見して、その理由の一端が分かったような気がしたからです。また、神奈川学習センターの所長をはじめ皆様のご協力も大きな力となっていることは言うまでもありません。

今年に入ってから新型コロナウイルス感染症により社会の仕組みが変わり始めました。今後の活動はさらにいろいろな面で複雑になると思います。皆様のお力添え今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 会長退任のご挨拶



佐葉慎二

私は本年6月に神奈川同窓会会长を退任いたしました。2015年に木村会長の後任として第10代会長に就任して以来、同窓会員の皆様や役員・准役員および学習センターのご協力とご指導により、伝統ある神奈川同窓会の発展に微力ながら責任を果たせましたことに厚くお礼を申し上げます。

多くの同窓会員にとって放送大学での学びは人生の中での新たなチャレンジであり、その結果得られた達成感はかけがえのないものです。また豊富な知識と多彩なキャリアや地域活動を展開している仲間と巡り会えたことで自分の人生が豊かなものになっています。

同窓会活動は、こうした仲間との交友の輪を維持・拡大して更なる生涯学習の動機付けを行い、貴重な機会を与えてくれた母校へ感謝とともに、学びの成果を社会に還元することを目指しています。そのため、弘明寺サロンでの発表会や講演会、施設見学会や古典芸能鑑賞会、映画上映会などの対面交流を行っております。また会報『波濤』や「ホームページ」と「波濤ネット」などによる情報共有の充実を図っています。その他神奈川独自の社会貢献活動として「途上国の子どもたちの教育環境と生活環境の改善のための支援(プラン)」や「あしなが育英会」への寄付金活動の拡大を進めています。こうした活動には大学のご理解とご支援が欠かせず、常に学習センターとの緊密な連携関係を心がけています。フェスタ・ヨコハマへの協力、ホームカミングデーの開設による母校訪問機会の提供と再入学の動機付け、卒業・修了生を招き茶話会の開催などを通じて、放送大学の発展へ協力しています。

私は同窓会連合会の役員を兼務し、直近の2年間は連合会会长の立場にありました。連合会は各同窓会との情報交換を活動の目標としていますが、神奈川のこうした幅広い活動を他の同窓会に紹介し、全国の同窓会活動のレベルアップに貢献

出来たのではないかと思っています。連合会が大学本部と共に催する卒業・修了祝賀パーティの運営には神奈川同窓会の役員の多くの方に協力していただきました。また祝賀パーティへの参加者は神奈川が全国で最多となっており、神奈川の貢献なしには祝賀パーティの成功はありません。ただ今年は新型コロナウイルス感染リスクのため、学位記授与式も祝賀パーティも中止となり、参加予定の皆様には晴れの舞台がなくなり大変申し訳ないことになりました。

私が神奈川同窓会会長を務めてまいりました5年間に放送大学を取り巻く環境は大きく変化しています。人生100年時代を迎え生涯学習のニーズが高まっていますが、一方で高学歴社会の進展で放送大学の入学目的も学位の取得ではなく、学び直しやキャリアアップを目指す人が増加しています。大学も231チャンネルの開設など新しい取り組みをしていますが、日本全体の少子化の影響もあり、放送大学の学生は年々減少しています。同窓会員も全体的に頭打ちで、神奈川同窓会もここ数年600人前後の会員数となっています。

こうした厳しい環境に加え、コロナ禍に見舞われた中で、神奈川同窓会は今年創立30周年を迎えました。予定していた日程では記念式典を中止せざるを得なくなり、同窓会活動も休止状態です。事態の収束後は今までとは異なるニューノーマル(新常態)の世界になり、同窓会活動も様々な見直しが必要になると思いますが、私も相談役として金田会長以下の新体制での活動ができる限りサポートしてまいります。会長退任にあたり、これまでご指導・ご支援をいただいた皆様に心からお礼申し上げますとともに、神奈川同窓会の更なる発展をお祈りいたします。



## 副会長退任のご挨拶

浅井公子



還暦を迎えて放送大学へ入学、卒業後、同窓会役員をお受けして振り返れば16年が過ぎていきました。この間、大勢の役員さんや会員の方々との出会いが有り交流を深め、多くの事を学び、体験し、豊かな時間を過ごしました。しかし同窓会の発展を思い、ご尽力下さった木村元会長との悲しい別れもありました。当初の役員会は数人の役員による静かな会議でしたが、現在では30人近い役員が活発な意見を交わし活動内容も多岐に亘り、前向きな姿勢には隔世の感があります。今年2月、新型コロナウイルス感染症の流行であらゆる同窓会活動が止まる、いち早くWeb会議が立ち上げられ、ICT時代の一端に参加出来た事は大きな自信に繋がりました。副会長として何も出来ず悔やまれますが、素晴らしいお仲間と共に活動の一端を担えました事を感謝しております。

## 副会長退任のご挨拶

石橋正彦



2年前佐棄会長から、副会長を、と言われた時は、不適任と思いましたが、これまで皆様にお世話になったことの恩返しを少しでも出来れば、と考えお引き受けしました。やはり私には不適任で、ほとんど何も出来ず、むしろ皆様の足を引っ張る存在で2年の任期を終わり、誠に申し訳なく思っています。

私は以前よりプランを通じての支援活動をやっていたことから、同窓会内でも会の活動目的の一つであるプランを通じての社会貢献活動を担当させていただきました。

お陰様で学外を含めいろいろな方と知りになり、また多くのことを学ばせていただきまして本当に有難うございました。これからも一役員としてできるだけのお手伝いをさせていただければ幸いです。

## 2020年度役員体制

今年度の神奈川同窓会第31回通常総会は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出され、延期となりさらに書面総会となりました。当面、新役員によるWeb会議で審議をしながら活動を進めてまいります。

2020年度の役員体制は次のとおりです。

役職	氏名	主な担当
会長（新任）	金田 保男	
副会長（新任）	高橋 照夫	弘明寺サロン（主）
副会長 兼 事務局長（新任）	中島 悅子	ホームカミング デー（主）
理事（再任）	石橋 正彦	プラン（主）
理事（再任）	渡邊 久江	議事録作成（主）
理事（再任）	永井 藤樹	波濤編集
理事（再任）	家田 禮	茶道同好会（主）
理事（再任）	村田カズ子	あしなが育英会（主）
理事（再任）	植地 勢作	弘明寺サロン
理事（再任）	万場由美子	議事録作成
理事（再任）	澤村 雅嗣	太極拳クラブ（主）
理事（再任）	菅崎 博之	役員ネット（主）
理事（再任）	佐藤 敬	波濤編集（主）
理事（再任）	勝山 恵治	行事（主）
理事（再任）	田代 和嘉	プラン
理事（再任）	飯塚 武夫	総務
理事（再任）	清水 丈正	ホームページ（主）
理事（再任）	安達美帆子	会計（主）
理事（再任）	小田 妙子	波濤編集
理事（新任）	小野寺愛子	行事
理事（新任）	大森百合子	会計
理事（新任）	田辺 桂子	行事
理事（新任）	森 茂房	サークル協議会（主）
理事（新任）	佐々木幹夫	名簿管理
監事（再任）	五十嵐一成	監事
監事（新任）	浅井 公子	監事
准役員（新任）	寺村紀美夫	映画研究同好会（主）
准役員（再任）	柳澤 明男	映画研究同好会
准役員（新任）	大野 貴司	映画研究同好会
准役員（再任）	吳 春美	映画研究同好会
准役員（再任）	木下 義則	
相談役（新任）	佐棄 慎二	
顧問（再任）	福富 洋志	

## 卒業生の言葉

### 勉強嫌いの勉強法

山崎正之



今から10年前に入学、ようやくこの3月に2回目の卒業を果たし同窓会に入会しました。入学時は、「大学紛争があった為、充分勉強が出来なかつた。新たな気持ちで取り組んでみよう」という思いでしたが、始めてすぐに気づきました。自分はごく一部の分野にしか興味がわかない、要するに勉強嫌いであることに。同時に世の中には勉強大好きな方が沢山いることを知りました。語学の習得に飽くなき挑戦をされている方、フランス語のサークルを主宰しながら、愚管抄の研究にのめり込んでいる方など。

海軍兵学校出身のサークルの先輩は、常に教室の一番前に座り、「山崎君、好奇心が膨らんできて困るんだよ」が口癖でした。で、自分はどうすべきか。

結局、勉強せざるを得ない環境に追い込むしかないと悟り、まず改めて仕事を始めました。その結果、日経新聞への興味が戻ってきました。次に自分の「故郷を応援する会」の事務局長を引き受けました。地方消滅を身近に感じ、地方創生に関する書籍を読み漁りつつ、科目は『人口減少社会の構想』、『観光の新しい潮流と地域』、『NPOマネジメント』等を選び興味深く学ぶことができました。

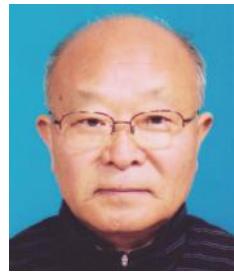
また、3年前からは地域の自治会長を引き受けています。地域は日本社会の縮図であり、様々な矛盾を抱えつつ、幅広い世代・多様な価値観が混在する場です。防災・防犯・空き家問題・民泊問題・まちづくり・行政との間合いと課題は絶えません。専門知識を得る上で目黒先生の『地域と都市の防災』は大いに役立ちました。

先日は、〈日本・バルセロナ・スマートシティフォーラム〉に参加すべく日経ホールまで出かけて行きました。受付の女性から「このオッサン、会場を間違えたな」という顔をされるのにもめげず、若い世代に混じり受講しています。

勉強嫌いの道は険しく、ただあくせくと動き回るのみです。

## 卒業生の言葉

## 卒業までの目標と実行



土方洋次  
2019年12月7日(土)「卒業研究合同発表審査会」後の懇親会で、合格を伝えられました。この時点で126単位を取得し、卒業の確信を得ました。幕張から帰宅する電車の中で、3年半の努力が報われた満足感・達成感を感じくり味わいました。嬉しかったです。

4年前の2016年2月末に73歳で退職。何か目標を持たねばと思い、たまたま藤沢市の広報紙を見たとき、放送大学の学生募集広告を見つけました。即刻予約をして神奈川学習センターに出向き、その場で選科生への入学手続きをしました。

授業を受けて、現役時的小間切れの知識が繋がる、広がる、背景が分かる。これは面白いと強く思いました。2年目に選科生から全科生にコース変更しました。

そして、次の項目を目標にしました。

- (1) 必ず4年間で卒業するぞと強く決心。
- (2) 卒業研究は履修する。
- (3) 体系的に勉強するためにエキスパート認証を取る。  
⇒9認証を取得しました。
- (4) 2年目1学期に、卒業までの単位取得道筋を作成して2・3年目に科目を多く受講し、4年目は卒業研究に専念すると決める。⇒20科目/2年目、15科目/3年目を受講しました。
- (5) 「予習⇒受講⇒過去問と通信指導問を解く」を愚直に、地道に、徹底して継続する。
- (6) 学習相談室へせっせと通い、先輩と会話の中で学習へのヒントを得る。⇒約20回通いました。

このような目標のもと特に(2)の卒業研究は福富所長に2回アドバイスをいただき、原田ゼミを5回受け、適切な指導を受けました。そして目標全部を実行し、その甲斐あって「社会と産業」コースをこの3月に4年間で卒業し、「心理と教育」コースで再入学をしました。また横浜国立大学の特別聴講生として「身近な電気と機械」も受講しています。



## 修了生の言葉

## これからがスタート



宮下美知子  
大学院進学の直接のきっかけは、仕事上「修士修了」の資格が必要になったからですが、以前から漠然と大学院に行きたいと思っていました。ただ、自分の専門に合った、且つ仕事をしながら通える学校が見つけられず、今回必要に迫られ慌てて探して放送大学大学院に辿り着きました。

「研究」ということがどういうことなのか知らないまま入学し、4月初回のゼミでは、「大変なところに来てしまった…」と自分の無知を思い知られショックを受けました。所属したゼミは、学生9名、教員3名。「教育」という大きな共通項はあるものの見事に全員が全く異なる研究テーマで、狭い世界しか知らなかつた私にはとても刺激的でした。ただ、3か月に1回のゼミは、仲間に会える楽しみがある一方、研究が思うように進まない中、極度のプレッシャーを受ける場でもありました。仕事でゼミ発表の準備の時間が取れず、毎回徹夜で資料を作成し、学習センター近くのコンビニでコピーして教室に駆け込み、「欠席しようかな」と思うこともありました。

「研究テーマは、針の穴ほど小さく絞らなければいけない」と言われながらその意味を理解出来ず、レポート2を提出する頃やっと方向性が見え、そこからは怒濤の1年でした。インタビューが研究の柱だったので質問項目を考え、日程調整、インタビュー、文字起こし etc。調査対象が外国人の児童生徒と保護者で、こちらの思い通りにいかないことも多々。論文締切の1週間前は、内容を上手くまとめられず「出来ません」と指導教官に泣きつき、頭の整理に2時間以上付き合って頂き、何とか間に合わせて提出するという縄渡りの修了でした。そして私には、「研究をした」ではなく、「研究とはどういうことか」を学んだ2年間でした。恥ずかしながら、修了してやっと知りたいテーマのスタート地点に立てた気持ちです。仕事をしながらの勉強は大変でしたが、貴重な経験を得られたことに感謝です。一つ残念だったのは、学位記授与式の中止。NHKホールで第九が歌いたかった…。

## 卒業生ショートメッセージ

- ◆横浜市 多田 僕：面接授業では、「恐竜」の話を福井で、大阪で「能」を見て、「阿豆流為(アテルイ)」の話を盛岡で、青森の「三内丸山遺跡」まで行き、それぞれの権威の先生方の授業を受けられたのは、放送大学ならではの喜びでした。
- ◆藤沢市 土方洋次：すでに「卒業生の言葉」として原稿を提出させて頂きました。お世話になります。よろしくお願ひ申し上げます。

## 会員報告

### 歓びの詩が私の心を共鳴させた～回想

大澤常雄



平成27年夏、面接授業で「第九を楽しむ（社会・文化史篇）」という講義を4回受講しました。茂木先生からベートーヴェンの経歴や作曲の経緯等、生涯最後の交響曲第九について、第1楽章から第4楽章までの曲の組

立てや意味の概況の説明があり、受講生は列ごとに楽譜の読み方や単語の読み等夢中で自習しました。茂木先生は授業も最後の方になると、第4楽章の一部を解説しながらピアノを弾き受講生に第九を合唱させました。

授業が終わる頃には学習センター所長が教室に来られ次のように話されました。「放送大学の授業の一環として関東地区7学習センターの学生等有志で『第九を楽しむ会』を結成して、約2年をかけて本格的な演奏会を行いたい。運営はすべて学生の代表に任せ、各センター所長等が助勢する。第九を歌ったことのない方でも歓迎。毎回出席して歌う意欲のある方を募集する」と。私は、思い切って挑戦してみよう、そんな気持ちで申込書を提出しました。

レッスンは当初7学習センター毎に実施することになり、神奈川学習センターは生徒50余名に対して講師2名、ピアニスト2名によりご指導いただきました。まずパートの選定、发声練習、音符譜読み、ドイツ語の読み等を徹底させ、譜面番号ごとの練習を月1回から2回を約1年繰り返すものでした。最後に講師が、参加生徒の歌唱評価を行い出場参加者が選ばれました。

平成28年8月からは東京文京学習センターに集合し生徒254名と10名の指導講師による合同練習を月1回から2回することになりました。そしてパート別練習や合同練習（ソリスト参加）を繰り返しました。

演奏会は平成29年3月26日、東京芸術大学奏楽堂で行うことになり、音楽の殿堂、東京芸大奏楽堂の舞台に全員が揃ったときは、荘厳なあまり感激まり胸の鼓動を感じてしまいました。指揮者の評価は95点でしたが、観客の度重なる大歓声に安堵し、私にとっては忘れられない1日となりました。

## 第69回弘明寺サロンレポート

日 時：2019年11月7日（金）  
 場 所：神奈川学習センター第3講義室  
 演 題：神奈川近代産業の始まり  
 　　—ジェラールと仏蘭西瓦—  
 講 師：坂上 克弘氏  
 1971年、横浜市の埋蔵文化財センターで港北ニュータウン遺跡群の発掘調査をはじめ、横浜の近代遺跡・遺物の調査研究に携わる。

この度は外部講師をお招きし、横浜の近代産業勃興期についてのお話をいただきました。

幕末の開国・開港によって横浜には多くの文物が入り、関内地区や山手地区には従来の木造建築に替わって石造りや煉瓦造りの洋風建築が立ち並ぶようになりました。

今まで見たこともない赤色の煉瓦造り建築などは、当時の人々の目に「文明開化」を象徴する物として映ったであろうと推察されます。

こうした新しい洋風建築を特徴づけたのは、煉瓦や西洋瓦といった建築材料でした。

幕末の開港間もないころに来日した、一人のフランス人ジェラールによって明治初年に最初の仏蘭西瓦が作られました。そのジェラールの業績をたどりながら、横浜の明治初期の近代産業の1ページにスポットを当てた興味深いお話をでした。

（高橋照夫）



## 《特別講演会》

### 激動の世界経済を読む

2019年12月7日に開催した同窓会の年末特別講演会では、国際金融がご専門の当大学客員教授・上川孝夫先生により「激動の世界経済を読む」という演題でご講演いただきました。

現在、米中間の関税・貿易摩擦、トランプ大統領の自国第一主義の排他的な対外政策、英国のEU離脱など、国際的な難問が山積しています。これらの諸問題を解くカギを150年というスパンで起きた事象を振り返りながら解説していただきました。講演要旨全文を同窓会ホームページに掲載していますので、ぜひご参照下さい。

先生は、リーマンショックの後、激変という状況に陥っている世界経済は「150年のスパン」で見ればよくわかると、下記の3つのテーマに分けて解説されました。

1. 世界経済150年と現在
2. 1930年代を振り返る
3. 世界経済の行方



#### 1. 世界経済150年と現在

この150年間に世界の霸権国は英国から米国へ移り、そして中国が台頭してきました。

お金のグローバル化は、1929年の大恐慌までの第1次、ベルリンの壁の崩壊から始まった第2次の2回ありました。リーマンショック後、困ったことに「脱グローバル化」の方向に進み、現在に至っています。

#### 2. 1930年代を振り返る

私は、米国の南北戦争は奴隸解放戦争だったと考えていましたが、関税を巡る南部と北部との闘いでもあったことを初めて知りました。当時の新興国アメリカは、東部は新興工業地帯で、脆弱な成長途上の産業を守るには保護貿易政策が必要で、リンカーン大統領が率いる共和党が基盤です。一方、南部は、奴隸制プランテーションで綿花を栽培し、それを輸出してイギリスから綿製品を輸入しており、民主党の選挙基盤となっていました。南部は自由貿易を主張し、東部は保護貿易を主張したわけです。仮にイギリスから入ってくる綿製品に高い関税をかけると、イギリスは対抗措置として綿花に高い関税をかけてきます。すると綿花は売れ

なくなります。両党の主張がぶつかって南北戦争が起きたというわけです。現在、共和党を基盤とするトランプ大統領は関税引き上げを主張していますが、これは歴史から見ると珍しい事ではないと、先生は解説されました。

前置きが長くなりましたが、1930年代、英米の関税は大きく引き上げられ、世界貿易は螺旋型を描いて収縮し、世界の輸入額は月額30億ドルから10億ドルへと3分の1に落ち込みました。

この危機の打開のために民主党のルーズベルト大統領は「互恵通商協定法」を制定して、関税の引き下げに転じました。しかし、貿易戦争はこれで終わらず、英米をはじめとする主要国は一斉に自国通貨を安くする通貨安競争へ突入しました。この時期に債権国である英米の逆転が起きています。そしてニューヨークが金融センターとなりました。

さらに、英米などの債権国は海外に貸していた資金を引き上げ、世界のマネーの逆流が起きました。ドイツを始め多くの債務国でデフォルト（債務不履行）が起き、ヒットラーはデフォルト宣言をし、中東欧、中南米などと「マルク・ブロック」を作つて自国通貨でやりくりしようとした、グローバリゼーションは大きく後退しました。グローバリゼーションの後退、ブロック化が進み、「持てる国」と「持たざる国」とが衝突し、戦争という不幸な結末へつながっていきました。

#### 3. 世界経済の行方

戦後、戦前の反省に立って、GATT、IMF、世界銀行が発足、さらにWTOをつくり、関税は大きく下がりました。しかし、トランプは今、これをぶち壊そうとしています。米中間の摩擦を見ると、トランプ大統領は関税を引き上げ、貿易赤字を減らそうとしていますが、第3国経由の対米貿易の増加、多国籍企業の工場移転により、その効果は減殺されてしまいます。金融面では、中国は米国債の最大の保有国です。中国はドル依存から脱却するため、「一帯一路構想」、「アジアインフラ投資銀行」を進めており、米中の摩擦・対立は長期化しそうです。英国のEU離脱は世界経済150年の大きな変化を見事に表しています。かつての霸権国・英國の地位は大きく下落し、活路を欧州大陸に向けたものの、結局EU離脱を決めました。「EUの権限から離れてヒトの移動、貿易、全部自分の権限でやる。主権を回復する」これがスローガンですが、かつての大英帝国の復権はなるのでしょうか。（植地勢作）

## 社会貢献活動（プラン）

神奈川同窓会の Plan International Japan（プラン）を通しての途上国の子ども達への支援は1992年に始まりました。本会の活動目的としてこのように社会貢献活動を立ち上げ、推進された先輩諸氏に改めて敬意を表します。そして、その意志を継いで、支援した子どもは当初は2人の子どもの支援からでしたが、今では年間6人の子ども達を支援しており、そしてこれまでの援助金の合計は7,475,000円にもなりました。

さらに、昨年まで支援していた1人の子どもの住む地域が、支援目標達成ということで、支援してきた子どもに代わり他の地域（国）の子どもの支援が新たに始まりました。これこそがプランを通しての支援の目的であり、まさに活動が実を結んでいることを意味しています。子ども達への支援を通して途上国について学びながら、さらにこの活動を発展させていきましょう。（石橋正彦）

## 社会貢献活動（あしなが育英会）

放送大学叢書販売の売上手数料を「あしなが育英会」に全額寄付し、保護者が亡くなったり、働きなくなった家庭の学生などを支援してきました。しかし新型コロナウイルスの影響で学習センターが閉鎖され、叢書販売は現在休止しています。

当事者の学生たちも街頭募金の機会が失われています。街頭募金は多くの人々からの支援の重みや温かさを実感し、「感謝の言葉」を直接伝えられる場であったといいます。

そんな学生たちの強い思いを受け、社会問題に特化したクラウドファンディングサービスを提供する「株式会社 GoodMorning」の協力のもと、新しい形の募金活動に取り組むことを決定したそうです。詳細は「Ashinaga Global 100 Challenge」を検索してみてください。

新型コロナウイルスが収束し、センターでの行事が再開されましたら、叢書販売も開始いたしますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

（村田カズ子）

## 《事務局だより》

2020年1月11日（『波濤』58号掲載）以降の新入会者は下記の通り10名の方です。  
心より歓迎申し上げます。（敬称略）

土方洋次	多田 倭	山崎正之
松田義美	石川明良	渡邊武治
竹枝早苗	宮下美知子	大越邦生
石井史子		

## 《お願い》

住居移転のあった方は、神奈川同窓会に連絡をお願いします。ハガキまたはホームページのURL:<http://hatoh.net/>の「入会案内欄」にても結構です。また例年総会案内と一緒に年会費「払込取扱票」を同封しておりますので未納入の方はご協力の程お願いいたします。

口座名 放送大学神奈川同窓会

口座記号番号 00250-4-□□16183（右詰め）

年会費 1,000円（送料はご負担願います）

お問い合わせ 金田 保男 Tel. 045-333-4426

E-Mail: [yasuo-kaneta-626531@hotmail.co.jp](mailto:yasuo-kaneta-626531@hotmail.co.jp)

## 「名誉学生」のお知らせ

神奈川学習センターから5名の方が名誉学生となられました。おめでとうございます。

上代益栄様、松田義美様、瀬戸口勇様、後藤初枝様、土屋旭様

## 訃報

藤田茂光様、中山 致様、

土橋藤雄様、荒井 薫様、

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 編集後記

5月15日に予定していた通常総会と創立30周年記念行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できず、総会は7月に「書面総会」となり、「記念行事」は内容変更も含め後日となりました。なお本年度は役員改選もあり会長、副会長とも交代となった新体制のもと、60号（記念誌）発行に向け進んで参ります。

（佐藤 敬）